

津波避難の3原則

津波警報が解除されるまで絶対に戻らない!

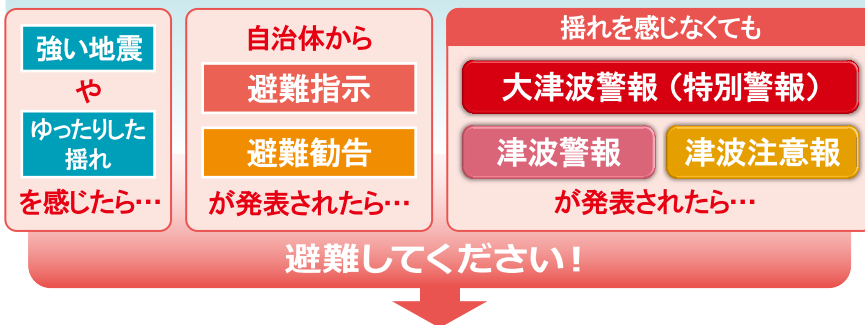
津波警報が発令されたら、すぐに高台に避難してください。「避難3原則」は家族を守るために必要なことです。迷わず実行できるよう家族で話し合っておきましょう。

参照:群馬大学大学院 片田敏孝 教授著
「人が死なない防災(集英社新書)」

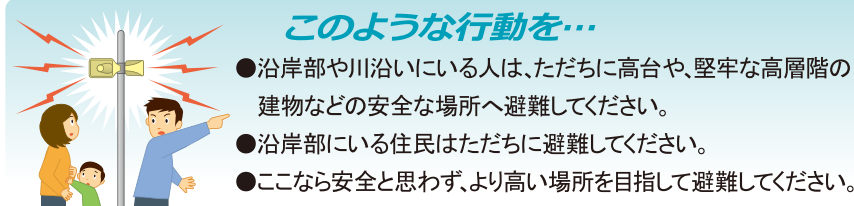
- 1 想定にとられるな**
ハザードマップに掲載している津波の浸水域などの情報は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。
- 2 最善をつくせ**
実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。
- 3 率先避難者たれ**
家族が離れたところにいた場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにもつながります。

命を守る津波対応チャート

こんなときには



このような行動を…



その後は…



津波の警報と注意報

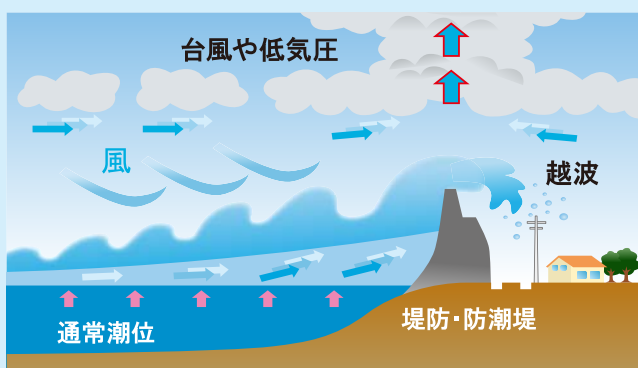
地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合は、大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されます。

情報の種類	発表される津波の高さ	
	数値での発表	巨大地震の場合の発表
特別警報に位置付け 大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大
	10m (5m<高さ≤10m)	
	5m (3m<高さ≤5m)	
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)

津波警報・注意報が出された場合、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどの「津波情報」が発表されます。

高潮発生仕組み

高潮は台風などにより発生し、満潮と重なると広い範囲で浸水するおそれがあります。気象台から発表される高潮注意報・警報に注意しましょう。



高潮の発生原因

台風や低気圧

現象

長時間にわたり、異常に高い潮位が続き、浸水被害が起こる。

注意すべき点

- 大潮時や満潮時に発生しやすい。
- 台風の接近時には、高潮の発生に警戒する。
- 大雨や暴風により避難が困難になることがある。